

# プロジェクト計画書

本計画書は、募集案内に記載していない事業内容の説明や補足をするものです。

## ■フォーマットについて

- ・OP、ED含め、本編の総尺7分秒～10分以内(30秒単位)
- ・総カット数、75～150カット程度
- ・総動画枚数、3,000枚以上～6,000枚程度まで
- ・作画水準は、劇場用作品未満程度、クオリティの高いテレビスペシャル程度を想定。

## ■スタッフ費配分案（部分用途限定予算による重点配分）※作画期間3ヶ月想定

プリプロ／監督・作画監督 作業料固定分(税別)				
職種	人数	作業目安	契約形態等作業料固定分(税別)	最大 150c/6,000枚
監督	1	企画開発 (企画・脚本・絵コンテ)	作業総額契約	¥350,000～ ¥500,000
キャラクターデザイン	1	キャラクター設定	作業総額契約	¥350,000～ ¥500,000
プロダクション／監督・作画監督・作画監督補佐・動画検査 作業料固定分(税別)				
職種	人数	作業目安	契約形態等作業料固定分(税別)	最大 150c/6,000枚
監督	1	35万円×6ヶ月	作業総額契約	¥2,100,000
		※監督の作業期間を8月より1月いっぱいまでの6ヶ月間と見込んでおります。 この監督料には、育成手数料も含まれています。		
作画監督	1	55万円×3ヶ月	作業総額契約	¥1,650,000
		※作画監督料25万円+原画指導料30万円=55万円×6ヶ月=¥1,650,000 仮計算：作業期間3ヶ月 約6,000枚÷(21日×3ヶ月)=95.2枚×2/3=63.4枚/日・人		
作画監督補佐	1	40万円×3ヶ月	3ヶ月総額契約	¥1,200,000

		※作画監督補佐料 25 万円＋原画指導料 15 万円＝40 万円×3 ケ月＝¥1200,000 仮計算：作業期間 3 ケ月 約 6,000 枚÷（21 日×3 ケ月）＝95.2 枚×1／3＝31.7 枚／日・人		
動画検査	1	27.5 万円×3 ケ月	作業総額契約	¥825,000
		※動画検査料 13.5 万円＋原画指導料 14 万円＝27.5 万円×3 ケ月＝¥825,000 仮計算：作業期間 3 ケ月 約 6,000 枚÷（21 日×3 ケ月）＝95.2 枚／日・人		
原画		1.75 万円×150 カット	カット平均 1.75 万円	¥2,625,000
動画		@350×6,000 枚		¥2,100,000
			作画部分総額	¥11,200,000
			総制作費	¥26,950,000
			残額	¥15,750,000

**※本事業の参加スタッフは半拘束です。ただし、O J Tが必須となるので、監督・作画監督と同じ場所、同じ時間帯での作業を厳守してください。**

※監督、作画監督、作画監督補佐、動画検査は育成指導費を含めると想定。

※監督費の内訳について

- ・監督がプリプロ(シナリオ、絵コンテ等)期間に行う業務の対価はシナリオ＋絵コンテ費用とし、別途固定給は支払いません。
- ・監督にはオリジナルを作る機会と、契約によっては二次配当に関する権利が与えられる為、通常の平均的な固定給を想定。

※作画監督費の内訳について

作画監督作業とアニメーター(原画)への育成指導とは、それぞれ異なる業務である為、費用は区別しています。仮に動画 6,000 枚の作品と考えた場合、21 日×3 ケ月想定で約 63 日労働となり、6,000 枚÷63 日＝95.2 枚、作画監督と作画監督補佐 2 人で、1 日当たり 95.2 枚の動画出しは仕事量として少ないと思われます。しかし、本事業では動画出しの作業費と、育成指導費を明確に分けることにより、作画監督らに、アニメ制作に関する本来の作画監督作業だけでなく、アニメーターらの指導も業務であるとの意識を明確に持ってもらふ必要があるとして作画監督費を設定しています。

※原画料は、平均@1.75 万円×150 カットで 262.5 万円を総額の目安とし、内訳の目安は  
 @1.25 万円 ×100 カット＝125 万円(ランク制で簡単なもの)

@2 万円 × 50 カット = 100 万円（ランク制で大変なもの）  
 を参考にし、アニメーター（原画）の作業想定量（最低 3～6 名：75～150 カット程度）と  
 併せて予算組みの参考にしてください。

※動画は 3,000 枚以上 6,000 枚程度までを作品の総枚数と考え総額の目安とします。

## ■参加するアニメーターらの月収モデル

アニメーターの月収モデル			
職種	人数	作業目安	1 ヶ月当たりの収入
アニメーター （原画）	6	@16,250 円×7 カット～10 カット	11.375～16.25 万円
アニメーター （動画）	10	@350×300 枚～400 枚	10.5～14 万円

※作画監督・作画監督補佐は、就労姿勢、作業姿勢等、作品に取り組む模範的姿勢をアニメーター（原画）に示すなど、育成指導費を含めるものを想定。

※アニメーター（原画）は、原画としての能力獲得のために努力するという前提の下、上記の目安の他に、本事業における人材育成調査研究、講座の受講等の業務に従事する為、育成期間中の月収は、18 万円（税別）を下限とします。

※動画は、動画が 1 月に 300 枚以上描ける内容を想定し、単価（@350 円）と設定しています。

## ■原画の期間契約モデル

アニメーターの契約モデル			
職種	人数	作業目安	
アニメーター （原画）	6	18 万円×3 ヶ月	カット平均 1.625 万円
		※平均作業量 7～8 カット／月×3 ヶ月×6 人＝126～144 カット想定	

## 備考

- ・本事業の人材育成の趣旨に鑑み、制作費及び事業協力費は制作費の予算の上限 2,695 万円 (税込)内より受益できるものと考えます。その為事業予算の中では別途利益の計上は想定しません。
- ・作画料については、総額の目安及び基準単価(最低基準)を設定しています。アニメーター (原画・動画) に対しては、各社の育成内容・育成期間に応じて、本プロジェクト計画書が示す最低金額以上での支払いを行ってください。  
※原画は 1 カット平均 16,250 円程度 (@12,500~20,000)、動画 1 枚 350 円(税別)。  
雇用の場合、月 18 万円以上の支払い。
- ・作画期間が延長した場合、作画期間以外も育成期間として設定する場合等、撮影見学、アフレコ見学等で発生した交通費など、関わった仕事量、作業時間等に見合った支払いは必ず行ってください。
- ・事業終了後には徴憑書類の一式を提出していただきます。実際の支払いの有無についても、個々のアニメーターへ事後確認調査を行います。徴憑書類のフォーマット、まとめ方については、受託決定度、育成プロジェクト事務局からご連絡いたします。
- ・再委託費を会社運営に使用することを防止するため、契約によってこれを予防すると同時に、制作の進捗状況に応じ、適宜モニタリング(監査)をして不正を行えない体制をつくります。

## ■作画工程におけるアニメーター・チーム編成

- ・モデルケースは、監督及び作画監督を除き、アニメーター (原画・動画) 3~6 人、作画監督、作画監督補 2~3 人の計 5~9 人とします。
- ・作業途中で他作品に移行するために離脱するの行為は認められません。ただし、病気等の突発的で特別な事情が生じた場合は例外とします。やむを得ない理由でのメンバー変更等のイレギュラーが発生した場合には、必ず、育成プロジェクト事務局までご連絡ください。育成委員会内で内容について精査し、その後の対応を決定させていただきます。
- ・全ての原画はチーム内で作画作業を完了しなければなりません。現在のアニメーション制作で一般的である、少量ずつのばらまき(外部委託・下請)は、本事業の根幹となる O J T が機能なくなるため、認められません。
- ・動画以降の作業に関しては、すべて国内で作業することを除き、受託制作団体の裁量に任せます。

## ア 監督及び作画監督に対する基本方針の提示

#### ① 人材育成調査研究が主である意識

本事業では、我が国アニメーション文化の将来を担う優れたアニメーター等アニメーション人材の育成方法について実践的な調査研究を行います。クオリティを追求した作品作りだけに意識が向かわないように注意ください。

#### ②育てる意識

本事業の目標の一つであるアニメーターの育成は、時間がかかり困難なものです。監督及び作画監督には、息の長い原画育成は将来の国内アニメーション産業にとって極めて重要であることを理解いただき、積極的に育てる意識を共有してもらう必要があります。

### イ ランク制の導入

本事業では、カットの難易度に応じて原画単価に 3 から 5 段階程度の差異を設ける「ランク制」の活用を検討ください。一般的に、原画の単価は、内容の難易度が大きく異なっても同一であり、また力量の差がある方でも同一単価です。

しかし、カット内容によるランク制を導入することによって、力量のある人に一方的に負担が増大するのを調整することができると考えています。

平均単価 16,250 円／カット、12,500 円～20,000 円の幅を想定しています。

#### ① ランク制のサンプル数字

C ランク	B ランク	A ランク	
@12,500×150 カット			¥1,875,000
	@15,000×100 カット	@20,000×50 カット	¥2,500,000
@12,500×50 カット	@16,250×75 カット	@20,000×25 カット	¥2,343,750

ランクの判定に際しては、絵コンテに記号等で明記し、それを保管していただくことを義務とします。

## ■受託制作団体の選定に関する基本方針

### (1) 選定方法

受託制作団体の公募・選定に際しては、選定委員に対し不正な働きかけが出来ないようにするため、選定に関する委員会開催は 1 回(1 日)のみ、また、応募各社の企画内容等については、育成プロジェクト事務局を中心に綿密な事前調査を行うことにより、選定委員の質問

に対応できる体制を整えます。その為、応募団体に企画内容等を問い合わせる場合がございますので、予めご了承ください。

多数の応募があった場合には、予め育成委員を招集し、アニメーター等の人材育成に適しているか、制作体制等が整っているか等の観点からチェックを行い、適さないと判断されたものについては、オブザーバーとして意見を付することとします。

## ■オリジナルの定義

本事業における"オリジナル"の有無は、主として以下の各点に照らし合わせ総合的に判断するものとします。

### ① シナリオについて

- ・都度協議いたしますが、基本的にマンガ原作は不可とします。
- ・小説原作については、古典もありえるため全体としては可とした上、都度協議いたします。
- ・過去にアニメ化された小説原作は不可としますが(例:グインサーガ)、古典小説や民話等は過去にアニメ化されていても可とします(例:赤ずきん)。
- ・公開/未公開を問わず、過去に作品化されたアニメーションの続編は原則として不可とします。

### ② キャラクターデザインについて

- ・使用料・権利料の発生する既存の挿絵、イラスト等の使用は不可とします。
- ・制作会社が著作権を持つキャラクターを使用することは可能です。
- ・キャラクターデザインは、アニメーターであることとします。
- ・キャラクターデザインは、作画監督が兼ねることが望ましいものとします。
- ・応募資料提出時には、監督がキャラクター原案を兼ねても差し支えないものとしますが、監督がキャラクターデザインを兼任することは認めません。

## ■全ての制作工程を国内で完結する仕組み

本事業は日本の税金を投入した国の事業です。本事業において制作される作品は、動画・仕上げを含めた全ての工程について、日本国内で処理されることの確保を条件といたします。

近年、わが国で制作されるアニメ作品の動画・仕上工程については、多くの作品が中国・韓国をはじめとする海外に流出しているのが実情です。アニメーション＝アニメーターの人材育成におけるファーストステップであると考えられる工程が動画工程ですが。国外へ過度に流出していることは、アニメーターから仕事とOJTの機会を奪い、アニメーター不

足・高齢化を招いた主要原因の1つであると考えられます。

その為、本事業では、税金による事業予算を「我が国アニメーション分野の向上とその発展に資する」との目的に照らし、最大限活用するためにも、受託制作団体に対し、**動画・仕上工程を含めた全ての制作工程を国内処理することを契約により義務づけます。**

(動画チェック、原画等と同じ場所で作業する動画スタッフです。)

## ■その他注意事項

※音響制作は必須ですが、アフレコは必須ではありません。

※完成した作品は、令和2年3月に開催予定のシンポジウムで、各社のOJTでの研究結果発表と合わせて上映・配信する予定です。シンポジウムでは各社に発表していただくことを想定しています。こちらの詳細については、受託決定後、ご連絡いたします。

※完成された作品は、本事業の契約期間後に、国内外で放送・上映されることがございます。  
(本事業終了後の上映、放送、配信協力については、都度許諾確認のご連絡をいたします。)

※動画外注予定会社等

動画については、作品選定後に出されたメインスタッフリストの方が、本事業に参加されるのが望ましいですが、動画の場合には、原画見習い等昇格的異動があるため、事情により変更も可とします。また、動画外注予定会社については、本事業中に調査等を行う可能性があるので、本事業の趣旨を十分理解し、協力出来る個人、団体、会社で構成してください。

※契約締結までに育成側、育成される側の全スタッフで最低1回以上、顔合わせ・打合せを行ってください。

※本事業には、メディアの取材が入ります。参加されるスタッフ等については、写真撮影・動画撮影等に御協力いただき、応募時に各制作団体から参加者全員へ説明してください。受託決定後、「確認書」を提出していただきます。

※3DCG等で応募する場合は、本プロジェクト内容に記載の内容を、3DCGの職務内容、役職に置き換えて応募してください。

(例： 指導的原画 ⇒ 3DCGディレクター等 )

※応募時および作品選定後にご提出いただくスタッフリストは、育成指導者と育成対象者の名簿であり、受託制作団体が行うOJTのための重要書類です。本事業開始後のスタッフの変更は、健康上の問題等、特別な理由以外は認められませんので注意して作成してく

ださい。

## ■オリエンテーション

本事業開始時に、受託制作 4 団体の育成指導者、育成対象者、事務局及び委員が集まり、本事業趣旨の確認等を含め、育成方針、育成方法の説明を行います。

本年度は 8 月 24 日（月）に 3 時間程度での実施を予定しております。下記の方々は必ずご出席ください。

### ①参加者

＜育成側（指導者）＞

団体の代表者もしくは代表者に代わる責任者、プロデューサー、監督、作画監督、作画監督補佐、動画チェック。（必要に応じ指導的立場の原画）

＜育成対象者＞

アニメーター（原画・動画）、制作進行（現場で実際に制作を進行する者）等。

### ②事業目標と目的

a) 本事業の育成目標は、「アニメーション人材の技術継承」です。アニメーターについては「演技を創れるアニメーター」を目標としていただきます。

b) 育成の実務は誰かを明確にする。

育成の主体は、作品制作を行う各受託団体です。プロデューサー、制作進行等、管理側の方々を中心に、誰が何を行うかを明確にさせていただきます。

c) 受託制作団体へ育成指針と具体的育成方法の提案を行う。

各社から提出していただく「育成プラン」に基づき育成を行っていただきますが、育成委員の内容精査の結果、見直し、新たな提案があった場合、監督、作画監督、プロデューサー等育成側の方々に育成委員から説明、納得いただいた上で、実践していただきます。

d) リメイクの定義を行う。

作業のやり直しの責任の所在を明確にし、やり直しにも新たな支払いが必要な場合があることを説明します。今の現場では、曖昧な打合せで作画に入り、その後変更が何回も重ねられ、その作業料は払われないという理不尽なことがあります。

本事業では、そのようなことは下請法の観点からも改めるべきであると考え、実践を促します。例えば、打合せに基づいて作られたレイアウトが、絵コンテ（演出意図）の変更により描き直すことになることはリメイクだと考えています。



## ■事業推進について

本事業の運営体制・推進指針等については、受託者決定後のオリエンテーションの際に説明いたします。

また、育成プロジェクト事務局を中心とする本事業の運営側の各受託制作団体に対する連絡協議は、主に次のとおりです。

- ①育成委員会による、制作団体及び監督、作画監督、アニメーター等に対する、各種講座等を通じたアニメーション人材育成に関する具体的方法論の提供。
- ②育成委員による、監督、作画監督、アニメーターらに対する調査・研究。
- ③育成プロジェクト事務局による、制作団体に対する、年度内の作品完成確保のための進捗確認。
- ④本事業の各種要件の履践確認に基づく段階的な事業予算の提出。
- ⑤本事業の広報用等に限定した、制作される作品の内容や資料の提出。
- ⑥本事業の人材育成成果発表を用途とした、制作作品の内容やO J Tでの映像・写真資料等の提出。

なお、本事業終了後も、関連調査や、海外・国内からの上映要請に必要な資料提供や、放送・上映協力等の連絡をするものとします。

### 受託後作品完成までに提出を求める資料等

1) 本事業遂行のため、受託制作団体には受託後より、8月末の契約締結時までに以下の各資料の提出を求めます。(下記①～⑤)

#### ① スケジュール表

年度内の作品完成を担保するだけでなく、育成対象者に対する育成講義等について、全4団体の足並みを揃えるため、契約の締結に先立ちスケジュール表をご提出ください。

スケジュール表には、スケジュールの管理方法、管理を担当する制作進行についても記載してください。

#### ② メインスタッフリスト

美術監督、色指定、撮影監督等、各ラインのメインスタッフ、育成指導者、育成対象者、

実務を担当する制作進行等のスタッフリストです。再委託先を含むスタジオ所在地、出退勤簿等のスタッフ管理方法、管理担当責任者についても記載してください。

一部スタッフは、規定により契約締結後にはスタッフは変更できませんので、ご注意ください。

### ③ 確認書

契約締結前までに、本事業に参加する方々、本人による署名、捺印を入れた「確認書」をご提出いただきます。確認書の内容も、応募前に必ずご確認ください。

### ④ 育成プラン表

応募時に提出していただく、育成内容・方法が分かる書類に基づき、アニメーター（原画・動画）、制作進行等に対して、育成指導者側が実施する、OJT による具体的な育成プランを作成し、ご提出ください。内容は育成委員会で精査され、修正依頼をさせていただく場合がございます。実効性のある人材育成プランを作成いただき、達成目標を定め、各受託制作団体に実施できたかを育成委員が調査・研究いたします。

### ⑤ 予算配分表

応募時に提出頂いた予算表より、具体的な予算配分表をご提出いただきます

## 2) 作画開始前、10 月中旬頃に、下記の各資料の提出を求めます。(下記⑤)

### ⑥ プリプロ素材納品・シナリオ納品

絵コンテ・設定画・シナリオ等をご提出ください。

絵コンテ、シナリオ、キャラクターデザイン、美術設定、美術ボードの提出後、その内容の確認を以って、作画の開始となります。これらの素材が揃わない場合、育成委員会にて内容が不適切と判断した場合は、修正を要請することがあります。

また、これらの資料が揃ったことを受け、制作費の半額をお支払いいたします。

※支払いは、2020年10月～11月を予定しています。

## 3) 2021 年 2 月頭ごろまでに、下記の各資料の提出を求めます。(下記⑦)

⑦ 作品制作時育成（OJT）過程の育成の様子を記録した映像/写真等、育成プランに基づいた、各作品制作過程での、育成対象者に対して実施された育成の内容を記録した映像を撮影してください。（事務局より機材貸与、記録フォーマットの指示あり）

本事業は研究事業です。2021 年 3 月開催予定のシンポジウム（仮）にて、完成作品と合わ

せて、各社のOJTでの育成内容、成果発表を本映像/写真等の素材を基に、行う予定です。  
(提出していただいた素材を、事務局で編集・上映の予定)

#### 4) 本事業終了時に、下記の各資料の提出を求めます。(下記⑧、⑨)

##### ⑧原画・動画(カット袋)

必要に応じて、育成プロジェクト事務局、または育成委員会が一部を後の報告・検討等のためにスキャニング等を行い、資料化するものとします。提出いただく原画・動画については、育成プロジェクト事務局から依頼いたします。

##### ⑨徴憑書類一式、業務完了報告書、決算書

予算配分表、帳簿、支払い調書等、経理書類をご提出ください。

徴憑書類のまとめ方、フォーマットについては、受託決定後、育成プロジェクト事務局よりご連絡いたします。

## ■本事業の契約・権利関係

### (1) 受託制作4団体

日本動画協会と受託制作団体との間の契約については、公募要件として契約書の類型、締結を要する場面及び主要契約条項等を明記した契約書案を予め開示し、その締結を受託の必須条件とします。

受託会社に対し、締結を求める主な契約条項は次のとおりです。

#### ① スケジュールの遵守

本事業は単年度の公共事業であることから、本年度内の作品完成と公開が必要不可欠です。その為、契約においてはスケジュールの遵守が必須目標であることを確認した上で、事業予算の支払いは作品制作の進捗状況に応じて段階的に行うこととし、**万一、年度内の作品完成と公開が遅れる場合には支払済みの事業予算の返戻も含めた、違約罰条項を設ける等の方策により年度内完成を極力担保していただきます。**

#### ② 制作作品の権利関係

作品の著作権、即ち著作権法上の映画の著作物としての著作権、及びアニメーション業界において一般的なビデオグラム化権、テレビ放映権、及びインターネット配信権等、種々の二次配当権を含めた権利関係についても、公募時に予め開示し契約の条件とします。

なお、本年度内に対象とする商業展開の範囲に関しては、本事業の公益的性格に鑑み、慎重に検討いたしまして、契約時に調整するものとします。

#### ③ 用途限定予算とモニタリングの実施

本事業はアニメーション人材の育成方法についての研究事業のため、事業予算の一部については、契約によって用途を限定すると共に、その結果について各個人への支払までの追跡調査を行うこととし、併せてこれに違反した場合に対応した違約罰条項を定めることにより、事業予算の不当な流用等を防止します。

#### ④ アニメーション人材育成に関する協力

受託制作 4 団体の社員、又育成対象者は育成講座や、育成委員による調査研究への対応が本事業遂行のために必要不可欠です。受託制作団体には予め、これら人材育成のための施策に対する協力義務を課すこととします。

#### ⑤ 調査研究及び広報等への協力

本事業の成果を広く業界一般に広め、かつ、来年度以降の本事業継続を実現するためには、本事業の成果を社会に対しても適切に広報していく必要があります、受託制作 4 団体が本事業終了後、作品を商業展開していくためにも適切な情報管理が必要となります。

そこで本事業では本事業の公共性に鑑み、協力義務を受託制作団体に対して求めます。

さらに、次年度以降も本事業における制作スタッフの追跡調査がある為、知りうる限り受託制作 4 団体へ情報提供の協力を求める旨をご理解ください。

### (2) 育成義務

本事業に参加するスタッフは半拘束ですが、O J T が必須となるので、監督・作画監督と同じ場所、同じ時間帯での作業を厳守してください。

また、同期間中は平日の日中（朝 10 時から 18 時）で、昼食・休憩時間等を除いた 7 時間で、各社の「育成プラン」を実現するべく、育成を行ってください。

※就業時間について「各社の就業規則等により就業開始を 11 時からとしたい。」等、相談がございましたら、再委託契約締結前までに育成プロジェクト事務局にご相談ください。

## ■Off the Job Training (O F F - J T)の基本方針

### ア 育成講座の予定と出席

本事業では、就業者を対象とした技術向上教育プログラム（講座）を実施します。本年度

は10月～12月にかけて、5回程度の講座を予定しております。講座の受講に関しては、受託決定後、育成委員会での検討の上、どの方にどの講座を受講していただくか、受託決定後に各受託制作団体にご連絡いたします。

※参加指示があったものの講座へは、体調不良に類する特別な事由以外は欠席は認められません。講座への遅刻・欠席に際しては、本人もしくは受託制作団体より事前に、育成プロジェクト事務局へご連絡ください。

※育成委員会での検討の結果、育成対象者は全講座受講していただくこともございます。

## イ 育成講座の内容

- ① 社会人としての知識、認識をあらためて持ってもらう。
- ② 本事業の目標である「演技を創れるアニメーター」へ歩み始めてもらう。
- ③ アニメーションに必要な基礎知識をあらためて持ってもらう。
- ④ 各社の育成プランに共通する、指導内容を学んでもらう。

## ウ その他

本事業では、育成講座に関する育成対象者のアンケート調査を実施し、その結果を、調査・研究チームを中心として検討し、将来の育成講座、あるいは業界と教育界の共同講座開催等に役立てたいと考えております。

## ■ウェイトィングリストについて

個人のアニメーター（原画）に広く参加の機会を与えるための措置として、ウェイトィングリスト（団体・個人推薦制度）も行っております。

### ① ウェイトィングリスト（団体推薦制度）

団体推薦とは、本事業の受託制作団体としての応募条件を満たす会社等の団体が、本事業への参加を希望するアニメーター（原画）を、団体の推薦を添えて、推薦応募できる制度です。

### ② ウェイトィングリスト（個人推薦制度）

個人推薦とは、本事業への参加を希望するアニメーター（原画）が、業界でキャリアを積みまれている、しかるべき先輩アニメーター（原画）の方1名の推薦文を添えて、個人で応募する制度で、受託制作団体の募集と同時に、本事業に参加を希望するアニメーター（原画）

を別途公募いたします。

過去の本事業において、アニメーターらから「参加したいが、自分の所属するスタジオは応募しておらず、選ばれたスタジオとの伝手もないのでどうしようもない」、「フリーランスだが是非参加したい」といった参加希望の声が事務局に寄せられたことがあります。

アニメーター個人での応募を認めた場合には、所属しているスタジオや参加している作品との関連で問題が生じる可能性も否定できない点を考慮し、参加を希望されるアニメーター（原画）には、業界でキャリアを積まれている、しかるべき先輩アニメーター（原画）の方 1 名の推薦文を添えて、参加希望表明を提出して貰うことで、本事業への参加を希望するアニメーター（原画）のウェイティングリストを作成します。

作品制作内のアニメーター（原画）の編成は、選定された受託制作団体の裁量に一任しており、このシステムは、参加を保障するものではないことをご了承ください。

育成プロジェクト事務局は、ウェイティングリストに登録されたアニメーター（原画）との契約を、受託制作団体に強制することはありません。ただし、受託制作団体のアニメーター（原画）が、本事業への参加もしくは継続が難しいと育成プロジェクト事務局・育成委員会が判断した場合には、受託制作団体にウェイティングリスト登録者の参加を促す場合がございます。

※詳細についてはウェイティングリスト（団体・個人推薦制度）のご案内をご参照ください。

以上